

平成29年産米生産数量目標配分 農家組合長会議開く

【小千谷市農業再生協議会】

1月28日（土）、当J Aの谷口熊一組合長を会長とする小千谷市農業再生協議会は、平成29年産米生産数量目標配分の農家組合長会議をグリーンパークで開きました。農家組合長や行政、JA役職員ら約180人が参加しました。

谷口会長は「米の需要動向に的確に対応し農家所得を確保したい。皆様からご



▲目標達成を呼び掛ける谷口会長

小千谷市に配分された生産数量目標 9,059.90ト
 (内訳 一律配分 8,527.23ト・裁量枠 532.67ト)
 作付目標面積 1,671.57畝
 (内訳 一律配分 1,573.29畝・裁量枠 98.28畝)
 生産調整目標面積 1,010.43畝
 平成29年度の一律転作率は41.4%です
 《小千谷市の基準単収は542kg/10a》

理解とご協力をお願いします」とあいさつし目標達成を呼び掛けました。平成29年産米の生産数量目標を左記の通り示しました。

園芸女性部研修会 冬期間の取組学ぶ

【小千谷市園芸振興協議会】



▲越後姫のハウスを視察する参加者

2月14日（火）、小千谷市園芸振興協議会は、女性部視察研修会をおこないました。小千谷市内の女性農業者ら29人が参加。当日は、JAえちご上越の直売所「あるるん畑」を視察し雪下・雪室野菜の取組について研修をおこなったほか、上越市の渡辺農園の協力を得て、冬期間のハウスの越後姫（イチゴ）栽培を視察し園芸技術を学びました。

米粉料理ワンコイン試食会 米粉料理に笑顔

【JAこめっこレディース】



▲料理の説明をするこめっこレディースの皆さん

2月15日（水）、JA女性部こめっこレディースは、「ワンコイン試食会」を開きました。地域住民ら約40人が参加し、参加費500円で実施。披露した料理は「米粉のたまごバーガー」、「カブとミートボールのシチュー」（レシピをP16に掲載）、「フルーツゼリー」の3品です。気軽に参加し米粉料理を楽しみました。



▲両国国技館にて

1月18日（水）、J A企画「新春大相撲初場所観戦の旅」をおこないました。組合員や地域住民など45人が参加し、東京の両国国技館で11日目の取組を観戦しました。初場所終了後横綱に昇進した稀勢の里関とテレビコマーシャルなどでもおなじみの遠藤関の取組や横綱白鵬関の取組など迫力のある取組を楽しみました。

大相撲初場所 稀勢の里勝利に興奮



▲立田川親方と当J A役員

当日は、両国にある「相撲茶屋寺尾」にて昼食をとりました。立田川親方（元小結豊真将関）が同席し、参加された皆さんにサイン色紙がプレゼントされ記念撮影をおこないました。参加者は、「1度は本場所を観戦してみたかった。初めて観戦し、迫力があり楽しかった」と感想を話しました。

共済きらめき友の会 新病院に興味津々



▲あいさつする共済きらめき友の会の吉原会長

2月16日（木）、片貝中央支店は、共済きらめき友の会を同支店で開きました。地域住民ら約130人が参加し、親睦を深めました。今年、J A新潟厚生連移転新築準備室の笠井勝英室長を招き、4月開院が予定されている新小千谷総合病院の建物説明と診療科等について講演をしていただきました。笠井室長は「平成17年頃から統合の懇談が



▲新病院について講演する笠井室長

始まり、平成24年8月に基本構想発表し本格的な統合がスタートした」と新小千谷総合病院について話しました。当J Aの谷口熊一組合長は「糸魚川大火や、アスクルの埼玉倉庫火災など災害はいつ起こるかかわからない。万全の備えをしていただきたい」とあいさつするとともに日頃の当J Aの利用に感謝しました。

【片貝中央支店】

おぢやしごと未来塾 中学生キャリア教育

平成28年12月20日(火)、小千谷市は「キャリア教育事業・オンリーワンスクール新潟未来プロジェクト」おぢやしごと未来塾を開きました。

同塾は市内各中学校と高等学校の生徒を対象に産業界などと連携しながらキャリア教育を推進し、ふるさと小千谷を支える地域の産業や企業を理解する機会として位置付け、将来Uター



▶ J Aのブースで真剣に企業説明を受ける生徒とJ A職員

ンを含め就職先を考える際に、市内の企業等が選択肢のひとつとして意識されるように、早期の動機付けや啓発をおこなうことを目的としています。

当J Aを含めた市内32の企業や官公庁などがブースを設置し、各社の事業内容ややりがいなどを生徒に紹介しました。

当J Aのブースでは事業内容の他に基幹作物である米の品種当てクイズをおこないました。ブースを訪れた生徒たちは並べられた米の中からコシヒカリを当てようと見比べていました。

当J A総務部企画管理課の渡辺竜也は「この未来塾をきっかけにJ Aに興味を持ってもらい将来J Aが就職先として選択肢のひとつとなってほしい」と話しました。

健康情報ひろば

冬の期間の 保健指導を通して



魚沼病院
健康相談室 保健師

田中美奈子

皆様、冬の寒い時期、どのように過ごされていますか？今回は、春を迎えるための身体の準備についてお話したいと思えます。

雪国である小千谷地域では、保健指導をさせていただく中で、雪が無い時とある時の生活パターンが大きく変化する方がとても多いと感じます。家の中で過ごすことが増え、身体を動かさなくなると、おやつや食の量が減り、体重が増えたりは減ってしまいます。

では、どのように過ごしたらよいのでしょうか？例えば、降

り方によりですが雪かきで身体を動かすのはいかがでしょうか。買い物の時には、いつもよりお店の隅々までみて回りましょう。階段の一番下の段を使って上ったり下がったり足の踏み運動、TV体操もしくはラジオ体操などでもいいと思います。毎日の積み重ねが大切です。おやつの時間に身体を動かしましょう。また、3月は全国的に見ても1年間で一番ストレスが高まりやすく、体調を崩しやすいと言われてます。身体を動かすことはストレスを減らすことに繋がります。そして、体調の変化しやすい時期にこそ、健康状態をチェックして頂くことが大切です。

4月から魚沼病院健康相談室は小千谷健診センターと名前が新しくなります。健診・人間ドックをしていただくフロアは、白を基調に清涼感があり、待合の空間もリラックスしてお過ごし頂けるよう整えました。また、病院の外来と混同せず ゆったりと検査を受けて頂けるようになっていきます。皆様方の健康づくりと維持のお手伝いを引き続き行ってまいりますので宜しくお願いいたします。